



昭和通を中心としたる垂直航空寫眞日本橋、京橋附近(昭和五年四月十六日撮影)

に濃淡の色が生ずる。平坦地は判讀に左程困難を感じないが、高低關係のある土地は蔭影に依らなければならない。垂直寫眞に於ては正午に撮影せられたものには、蔭影がないから濃淡によつて知らなければならない。

(4) 季節

各季節に應じて畑地、潤葉樹林、針葉樹林、草地等の地區は寫眞上に色調の變化を及ぼすものである。草地に於いては冬枯時は淡灰色

春季芽生時には其色稍濃く、初夏の鬱蒼時は淡黑色、初秋は草長くして黑色に近い。草刈跡は劃然として白色に現はれる。枯草の堆積したものは白く、其端がほかしたやうに見える。

(5) 斷雲の蔭影及雪

斷雲の蔭影は黑色に現はれるが其端は不明劃である。蔭影内に劃然と黑色又は淡灰色に現はれる物の判讀は稍困難で、是等は原坂に



本寫眞は26珊寫眞機を用ひ、地貌、地上物件の概括的觀察を目的として撮影したものである。測量其他嚴密なる寫眞とは機械及 撮影を異にするものである。

依り或は印畫調製の際手加減して判讀に易からしめる。雪は白色に寫るが少い時は稍灰色を帯びる。道路殊に交通路は黑色に現はれるが、落葉林は灰色の斑點を呈する。蔭影に依つて高低を知る事は勿論である。

(6) 道路及軌道

道路は通常白色に現れ、軌道は之に比べて黑色を呈する。縮尺大なるものは明瞭である。電柱の如きは白色に現はれる。電車汽車の軌

道區別は其架柱に依つて判讀するのである。

(7) 河川 沼地及濕地

砂地は白に、水流は黑色に現はれ、風速強き日は水面に小波が漂ふ。白沫を見るのは岩石多く水流急な處である。一方白くして他方稍灰色を帯ぶるものは其白き方が上流である。潮の影響を受ける河川は其時の潮の關係を知らなければ誤つて判讀し易い。沼地濕地は光線の影響、水の混濁の狀況に依つて黒